

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所 ぽけっと			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名 (34家庭)	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに大変手厚い配置が実現出来ており、支援が充実しています。	それぞれのご利用者が安心して自発的に活動へ参加して頂けるよう、毎日のミーティングでその日その日の職員の役割を明確にし、共通認識のうえでご利用者の受け入れ体制を整えています。	今後もぽけっとへの通所を楽しみにして頂けるよう、ご利用者の思いに寄り添い、職員間でより活発な意見交換を行いサービス内容の工夫に努めます。
2	全体活動に使用するプレイルームに加えて個室が7部屋あり、特性に応じて集団・個別の空間を提供できています。	全体活動では皆が1つの部屋に集まりその日の活動に参加して頂きます(屋外やホールを使用することもあります)が、おやつやワーク等の時間はご利用者がゆったり自分の時間を過ごしたり、集中して取り組めるよう環境を整え、個室を有効活用しています。	引き続き、空間調整を行い安心、安全に活動に参加して頂けるように努めます。

3	個別支援計画の策定においては、計画立案に至るまでの過程を大切にしています。	ご利用者や保護者のニーズを捉え、定期的にモニタリング会議を開催する中で家庭・事業所における様々な情報共有を行いながら、相談をして個別支援計画書の見直しを行っています。	今後ご利用者や保護者のニーズを第一に、関係機関と連携し、お一人お一人の計画書の見直しを丁寧に行っていきます。そして作成した計画内容に沿って、個別支援の充実を図ります。
---	---------------------------------------	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在は、保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流、その他の地域の子どもと活動する機会を持っていません。	それぞれの機関の活動時間が異なり時間が合わせにくいこと、交流に際しての移動問題などが挙げられます。	諸機関との交流について、検討をしております。
2	保護者会は実施しましたが、家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会の実施が出来ていません。	モニタリング会議の場や、日々の連絡帳を通し各ご家庭へ必要に応じて具体的な助言をさせていただいており、保護者全体に向けての研修については開催はしていません。就労されている保護者が多い中、研修会の開催における日程調整が難しさの要因のひとつとして考えられます。	今後、研修機会を設けるかについて、保護者のニーズを把握し、検討しております。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを全て策定し、訓練の実施を行っています。契約時に重要事項説明書で保護者に説明を実施していますが、保護者側の周知に至りにくい現状があります。	全てマニュアルを作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し備えていますが、マニュアル策定、訓練実施現状の説明が不十分であったのではないかと考えられます。	日々保護者との情報交換ツールとして使用している「連絡帳」に、避難訓練の実施等についてお知らせし、実施状況を周知して頂くよう努めます。また安全計画の説明についてモニタリング実施時に行い、不明な点がないか確認します。